

第 32 回 つくば臨床医学研究開発機構シーズ評価委員会 議事概要

日 時：令和 5 年 11 月 20 日（月）13:00～17:15

場 所：筑波大学健康医科学イノベーション棟 8 階 講堂（ハイブリッド開催）

出席者：荒川（委員長）、浅井、川上、坂田、鈴木、須藤、田口、千葉、土屋、橋本、三澤、森田、山田、和氣
（事務局）辻、石田、小野瀬、内田、安保、細井、高岡、財部
（出席者は全員守秘義務について確認）

【議事】：

1. シーズ評価委員会委員について

- 「つくば臨床医学研究開発機構シーズ評価委員会の組織及び運営に関する細則（平成 29 年 3 月 30 日つくば臨床医学研究開発機構部局細則第 2 号）」第 3 条第 1 項第 10 号の規定に基づく委員として、宮崎委員が退任し、千葉靖典氏が新委員になったこと及び三澤委員の肩書変更が報告された。

2. 令和 5 年度橋渡し研究プログラム公募における preF、シーズF、シーズBのAMED 審査結果等

- 令和 5 年度公募において、筑波大学拠点（橋渡し研究支援機関）から 14 件（preF：7 件、シーズF：2 件、シーズB：5 件）（シーズFとシーズBの重複申請 2 件含む）応募し、preF が 4 件（拠点外 3 件）、シーズB が 1 件（拠点外 1 件）採択された旨が報告された。

3. 令和 6 年度橋渡し研究プログラム拠点公募とシーズ支援研究費公募結果

- 筑波大学拠点としての令和 6 年度シーズ支援研究費の preF / シーズF / B / C に係る公募を令和 5 年 8 月 21 日から開始し、10 月 4 日の申請書提出期限までの応募状況について以下のとおり報告された。
 - ・ 応募総数は 14 件（拠点内 7 件、拠点外 7 件）であったこと
 - ・ シーズ区分別の内訳は、preF が 12 件（拠点内 6 件、拠点外 6 件）、シーズF が 0 件、シーズB が 1 件（拠点内 1 件）、シーズC が 1 件（拠点外 1 件）であったこと
- 筑波大学拠点としての令和 6 年度シーズ支援研究費のシーズA（新規/継続）に係る公募も同時に開始し、11 月 8 日の申請書提出期限までの応募状況について以下のとおり報告された。
 - ・ 新規の応募総数は 26 件（拠点内 7 件、他拠点 2 件、拠点外 17 件）であったこと
 - ・ 令和 5 年度の新規採択シーズのうち、令和 5 年度の支援継続を希望するものは 16 件（拠点内 6 件、他拠点 2 件、拠点外 8 件）であり、初年度の実績報告の提出があったこと

4. preF、シーズB、シーズCの申請シーズの評価・選定の進め方

- 「筑波大学拠点シーズB / シーズC / preF / シーズF 評価実施要領（案）」が説明され、了承された。同評価実施要領に基づいて、preF、シーズB 及びシーズC への応募シーズの評価及び選定の方法等について説明が行われた。

5. preF、シーズB、シーズCの評価

- 委員の利益相反の有無を確認のうえ、本委員会に先立って、応募があった12件のpreF（拠点内6件、拠点外6件）、1件のシーズB（拠点内1件）、1件のシーズC（拠点外1件）を対象に、1シーズあたり4名の委員により行われた書面での予備評価の結果が報告された。
- 予備評価の結果に基づいて、委員の評価点の平均が低かったシーズCの1件を除いて、preF及びシーズBの全件（12件及び1件）についてヒアリングによる評価を行うこととされた。
- 引き続き、13件のヒアリングを行った。
- 大学病院臨床試験アライアンスにおける審査によって、筑波大学に対する採択推薦シーズとして、1件のpreF、1件のシーズBが選定されたことが報告された。
- ヒアリングの結果及び大学病院臨床試験アライアンスでの選定結果に基づいて、委員の評価点の平均が高かった10件のpreF（拠点内4件、拠点外6件（うちアライアンス経由1件））、2件のシーズB（拠点内1件、拠点外1件（うちアライアンス経由1件））の計12件についてAMED申請に向けて支援することとした。

以上